

事前の評価個表

| | |
|------|---|
| 整理番号 | 1 |
|------|---|

| | | | |
|----------|--|--------------|--------------------|
| 事業名 | 民有林補助治山事業 (復旧治山) | 都道府県名 | 福島県 |
| 事業実施地区名 | 峠 (とうげ) | 事業計画期間 | 令和3年度～令和12年度(10年間) |
| 関係市町村名 | 会津若松市 | 事業実施主体 | 福島県 |
| 事業の概要・目的 | <p>本地区は、福島県西部の会津地方に位置し、地質は中生代白亜紀に堆積した大戸層の泥岩等各種の岩類が発達した複雑な地質であり脆弱な構造をなしている。</p> <p>本地区は、一級河川阿賀川の右岸水衝部に当たり、河川の蛇行により山腹末端部の侵食を助長し、融雪や豪雨等で斜面の不安定化に伴い崩落の拡大が進んでいる。崩落面から発生する土砂は、直接河川に崩落し、山腹末端部に一時的に堆積後、豪雨発生時には下流へと流下している。当該箇所の下流域 2 km 以内には、人家 32 戸等の芦ノ牧集落・国道等及び年間 216 千人の集客がある芦ノ牧温泉があり、その下流域には会津若松市、会津美里町、会津坂下町の 3 市町を包括する用水を供給するための馬越浄水場がある。このため、山腹の崩落に伴う河川の閉塞による下流域への被害の拡大のおそれから保全対象への被害が危惧される。また、令和元年に発生した台風第 19 号の豪雨による河川の増水では、山腹末端部に堆積していた土砂等が下流へ流出し、河川沿いにある芦ノ牧温泉の汲み上げ施設が水没する被害が発生した。</p> <p>今後も地震や豪雨により、山腹の拡大崩壊の危険があり、早期復旧を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：鉄筋挿入工 15,000m²、植生基材吹付工 15,000m²、法切工 150m²、排土工 1,000m² ・ 主な保全対象：家屋 32 戸、集会施設 3 戸、国道 0.2km、市道 1.0km、橋梁 3 箇所 ・ 総事業費：1,200,000 千円 (税抜き 1,090,909 千円) | | |
| 費用便益分析 | 総便益(B) | 1,378,040 千円 | |
| | 総費用(C) | 884,824 千円 | |
| | 分析結果(B/C) | 1.56 | |
| 評価結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：当該災害の発生源である山腹崩壊地は非常に大規模かつ不安定な状況であり、下流域の人家、国道等に甚大な被害を及ぼすとともに、早急に対策工に着手しなければ、今後も山腹崩壊地のさらなる拡大や被害の発生が懸念される。 ・ 効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的な工種・工法の組合せを検討するとともに、事業実施に当たっても、コスト削減を考慮した手法により実施することとしており、効率性が認められる。 ・ 有効性：本事業の実施により、崩壊地の復旧、安定化が図られ、流域保全上重要な河川及び集落・国道等が保全されることから、その有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項(チェックリスト)、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p> | | |

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：峠地区

都道府県名：福島県
(単位：千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評価額 | 備 考 |
|-----------|---|-----------|-----|
| 災害防止便益 | 山地災害防止便益 | 1,378,040 | |
| 総 便 益 (B) | | 1,378,040 | |
| 総 費 用 (C) | | 884,824 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{1,378,040}{884,824} = 1.56$ | | |

評価箇所概要図

| | |
|------|---|
| 整理番号 | 1 |
|------|---|

福島県

| | | | |
|-----|-----------------|-----|---|
| 事業名 | 民有林補助治山事業(復旧治山) | 地区名 | 峠 |
|-----|-----------------|-----|---|

